

令和6年度 認定こども園・保育要録に基づく施設関係者評価

<自己評価>及び<公開保育>

所属（学校名、機関名、法人・園名など）： 社会福祉法人照治福祉会 摂津峡認定こども園		評価実施日
評価者名：堀川大輔（高槻市立阿武野中学校校長）西浦晴香（保護者代表）植田紗季（卒園生代表）清水百合（園長）岩尾雅子（副園長）他職員3名 教育・保育関係者7名		令和6年8月22日
評価の記録		
自己評価の説明を受けて	良い点	働き方改革に積極的に取り組んでいること。公休日が増えることによるプライベートの充実が保育・教育の質を高め、それが生産性を高めることと園が認識している。普段見れない子どもたちののびのびとした姿をゆっくりとみることができた。職員の保育に対して一生懸命にしていることに感謝している。
	改善点	働き方の改善を進めながら、保育・教育の質を担保していくための更なる創意工夫を目指す中で地域、保護者、ボランティア等により開かれた園づくりをしていく。
	今後の期待点	職員それぞれのニーズに合った様々な働き方の充実。園と保護者との信頼関係がより一層深まることに期待している。
評価の記録		
保育の様子を見て	良い点	本当に子どもたちが安心して園の中で生活していること。また子どもたち同士がそれぞれコミュニケーションを取りながら「自分のやりたい」を実行している。乳児さんの水あそびしている姿がかわいくて癒された。暑い中、先生が一生懸命保育している姿に感心した。
	改善点	特になし。
	今後の期待点	今後も子どもたちの主体性や可能性を存分に伸ばしていく、そんな保育・教育を実践して行ってほしいと思う。保育に対する工夫にいつも感心しています。また新しい案を楽しみにしている。
その他	保護者との対話を大切にしていると聞き、子育て当時私も先生からの言葉で救われたことを覚えています。	

公開保育の振り返りの中で…。

今回の公開保育は、卒園生や職員のお子さんたちの保育参加の様子を見ていただきながら、保育教育の連続性の大切さや保幼小の連携をテーマに振り返りました。